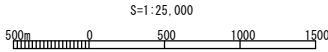
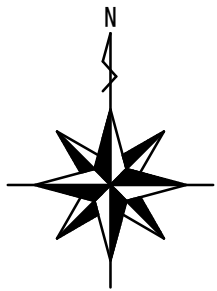
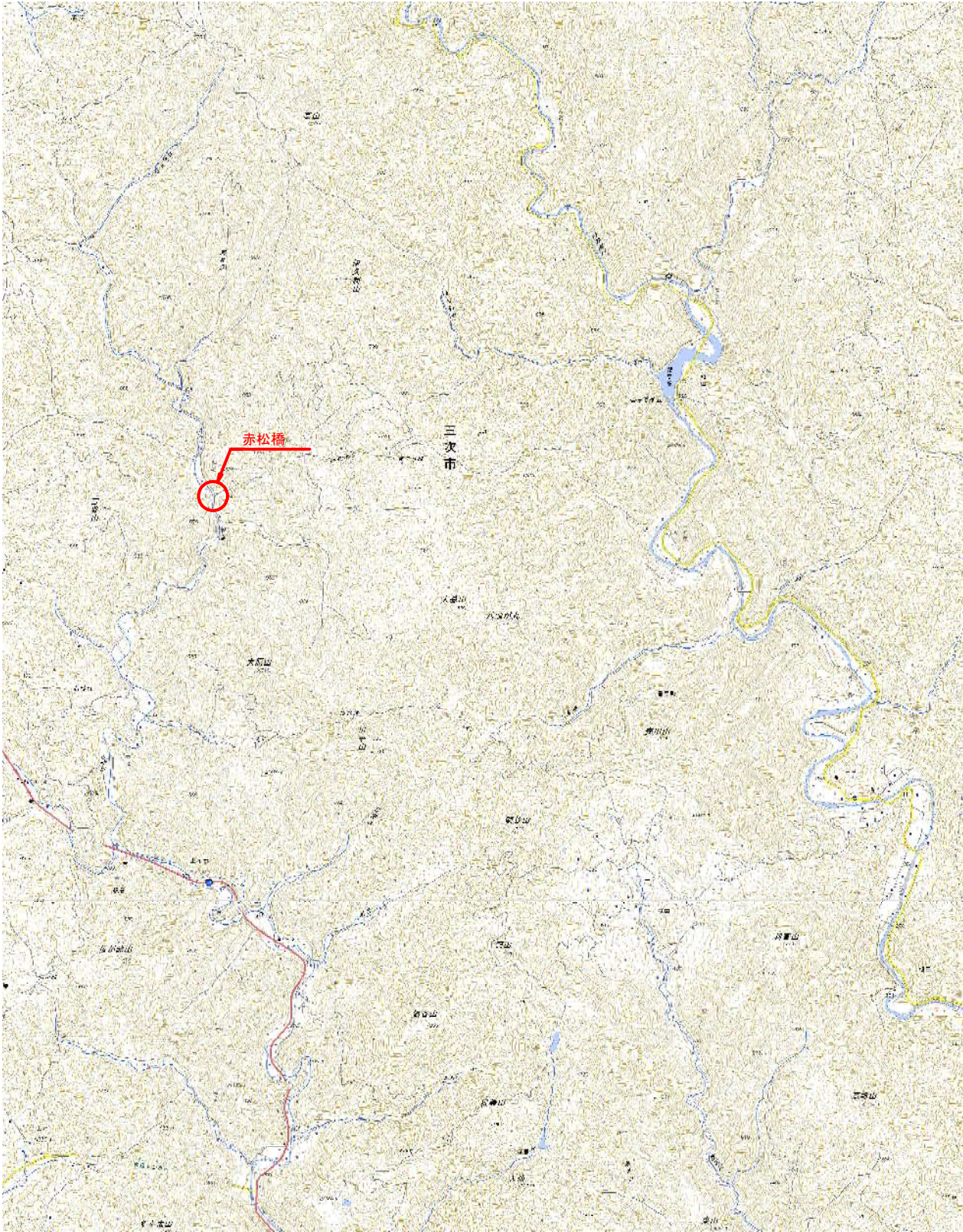


位置図

S=1:25000



国土地理院発行 地形図「上布野」「榎田」

【赤松橋】			
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	位置図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 9
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三上市 建設部 土木課		

S=1 : 50

上流側

橋長 5700
桁長 5660
支間長 5160

目地止水工 (ひびわれ抑制シート)

断面修復工 (左官工法)

※施工時水位

調査時水位

A1 A2

下流側

橋長 5700
桁長 5660
支間長 5160

目地止水工 (ひびわれ抑制シート)

目地止水工 (ひびわれ抑制シート)

目地止水工 (ひびわれ抑制シート)

※施工時水位

調査時水位

A2 A1

※施工時水位：春出水期(11月～4月)の観測データを用いて算出した数値である。

[illegible]

部 位		工 種	損傷判定区分
上部工	床 版	断面修復工(左官工法)	C1
	主 桁	断面修復工(左官工法)	C1
下部工	基 礎	根継工	C2
支承部	A1・A2橋台	支承防錆工	C2
路上	舗装	舗装撤去・再舗装工	C1区
		舗装ひびわれ補修工	C1
	伸縮装置	目地止水工(ひびわれ抑制シート)	C1

[illegible]

Technical drawing of a bridge deck cross-section. The drawing shows a central deck with a width of 7860 mm at the base. The total width of the bridge structure is 7478 mm. The deck is supported by two main piers, each with a width of 603 mm. The distance between the piers is 6272 mm. The deck thickness is 362 mm. The drawing includes dimensions for the deck width at different levels: 4970 mm at the base, 2890 mm at the top, and 2650 mm at the top. The drawing also shows the deck's profile, including a central dip and side slopes. A red arrow points to the deck surface with the text "舗装撤去・再舗装工" (Paving removal and repaving work). Another red arrow points to the deck edge with the text "支承防錆工" (Support rust prevention work).

Technical drawing of a bridge cross-section. The drawing includes the following dimensions and labels:

- Top Dimensions:** 603, 6272, 603.
- Left Side Dimensions:** 241, 362, 600, 3000.
- Right Side Dimensions:** 362, 241, 550, 2100.
- Internal Dimensions:** 2000, 150, 140, 340, 20.
- Bottom Dimensions:** 3450, 4850, 8300 (橋台幅).
- Labels:**
 - 鋪裝撤去・再鋪裝工 (Paving removal and repaving work) - points to the top surface.
 - 支承防錆工 (Support rust prevention work) - points to the support structure.
 - 根継工 (Foundation extension work) - points to the bottom foundation area.
- Other Labels:** 河川 (River) at the bottom center.

- 1) 本図は、橋梁定期点検調書を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

工事名	設計第34号 橋梁監理設計業務委託(15名未満)		
図面名	補修一般図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	2 / 9
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

赤松橋 補修図(その1)

S=1:30

1径間（桁下面）

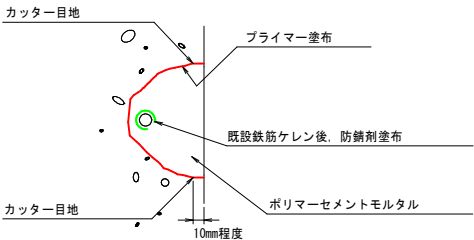
断面修復工（左官工法）

凡 例

（損傷の形状寸法の単位はmmとする。）

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ（開口幅0.2mm未満）
	ひびわれ（開口幅0.2mm以上0.5mm未満）
	ひびわれ（開口幅0.5mm以上1.0mm未満）
	ひびわれ（開口幅1.0mm以上）
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

断面修復工詳細図（左官工法）



【断面修復工】

※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。

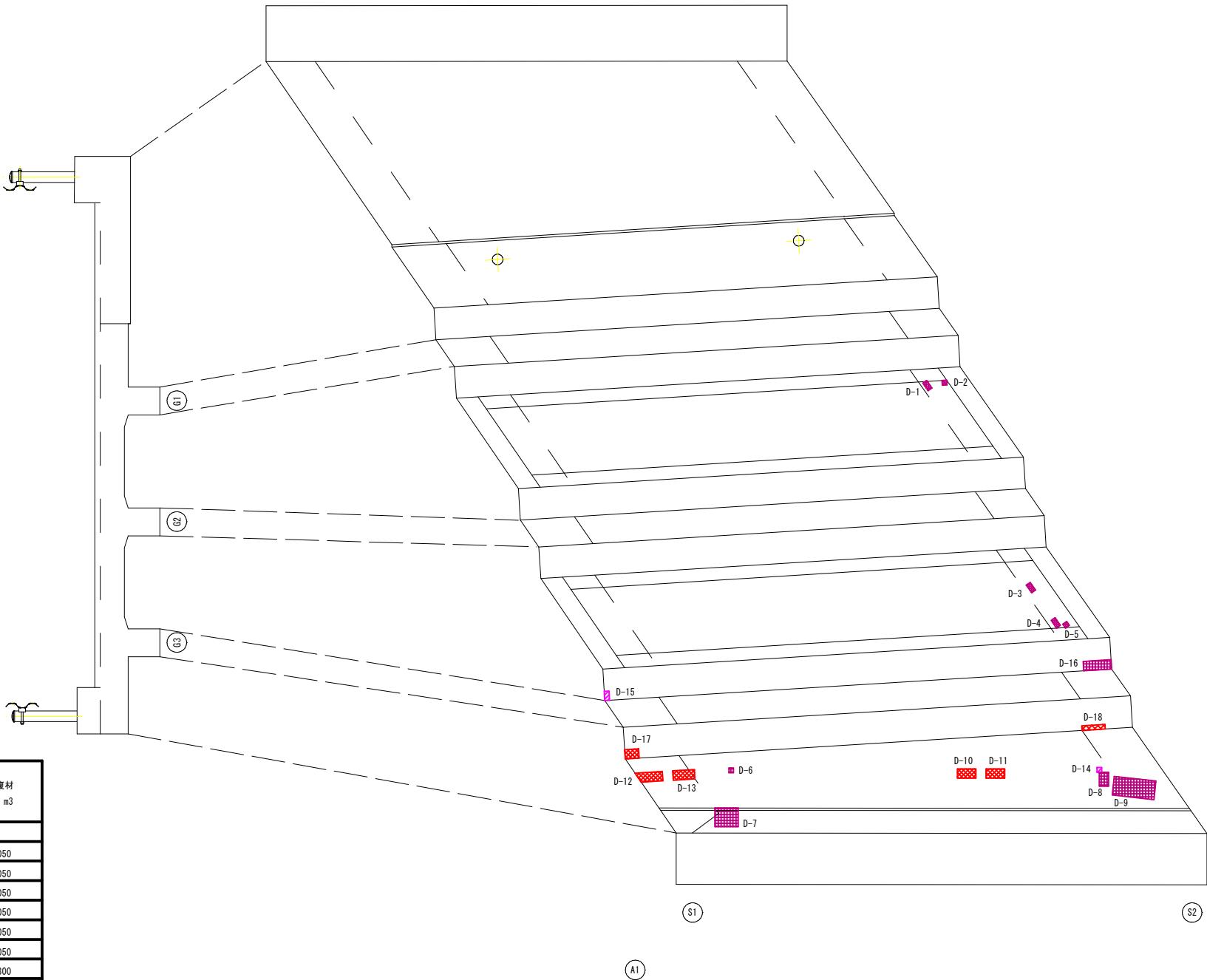
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。

※数量算出条件

・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表（左官工法）

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
上部工（床版、主構）						
D-1	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-2	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-3	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-4	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-5	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-6	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-7	鉄筋露出	0.20	0.30	50	0.0600	0.00300
D-8	鉄筋露出	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-9	鉄筋露出	0.20	0.50	50	0.1000	0.00500
D-10	剥離	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-11	剥離	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-12	剥離	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-13	剥離	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-14	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-15	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-16	鉄筋露出	0.10	0.30	50	0.0300	0.00150
D-17	剥離	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-18	剥離	0.10	0.30	50	0.0300	0.00150
合計					0.4200	0.0210



注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調書を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【赤松橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その1)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30	図面番号	3 / 9
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

赤松橋 補修図(その2)

S=1:50

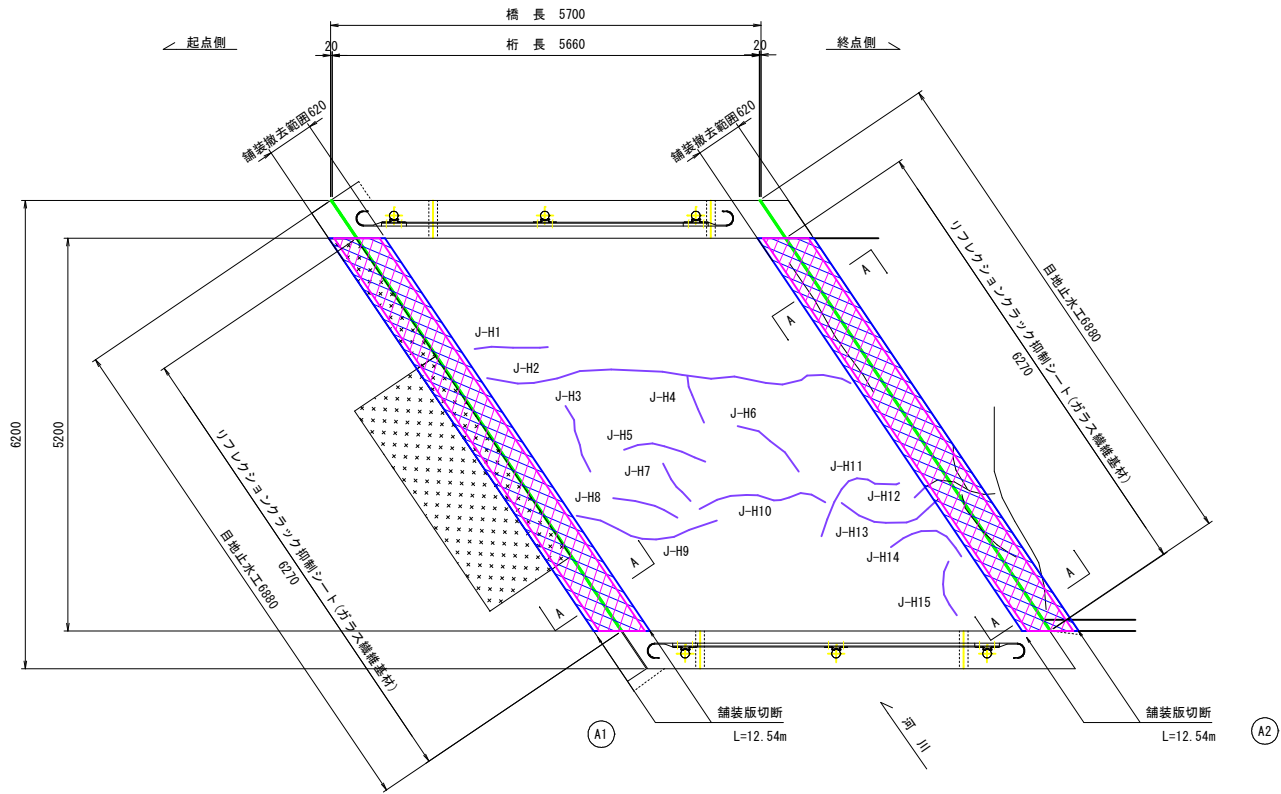
凡 例 (損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

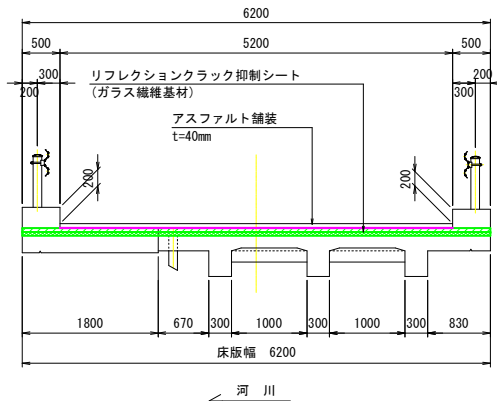
1径間(橋面)

舗装撤去・再舗装工、舗装ひびわれ補修工、目地止水工

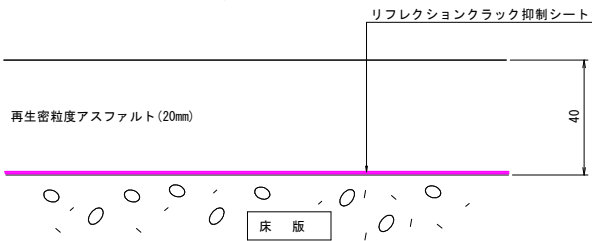
平面図



断面図

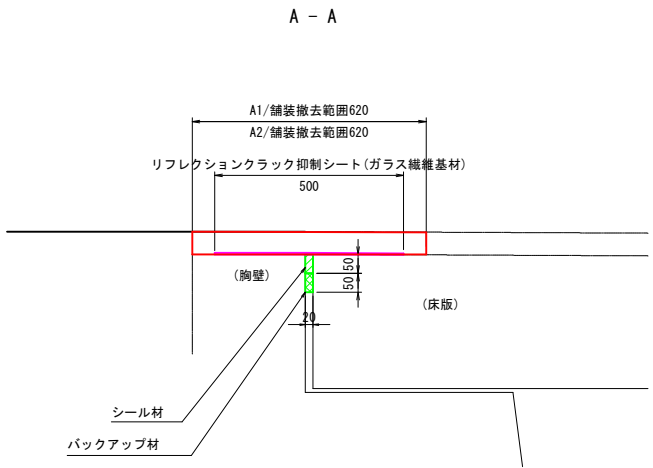


舗装構成図



端部防水処理詳細図

S=1:10



舗装ひびわれ充填工数量

損傷 番号	損傷	損傷範囲	
		幅 mm	長辺 mm
路上（舗装）			
J-H1	舗装の異常	3.00	1000
J-H2	舗装の異常	3.00	4950
J-H3	舗装の異常	3.00	1000
J-H4	舗装の異常	3.00	650
J-H5	舗装の異常	3.00	1150
J-H6	舗装の異常	3.00	1050
J-H7	舗装の異常	3.00	650
J-H8	舗装の異常	3.00	900
J-H9	舗装の異常	3.00	2000
J-H10	舗装の異常	3.00	1750
J-H11	舗装の異常	3.00	1550
J-H12	舗装の異常	3.00	200
J-H13	舗装の異常	3.00	1400
J-H14	舗装の異常	3.00	1150
J-H15	舗装の異常	3.00	800
合計			20200

舗装破砕工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	25.1	
舗装撤去工	アスファルト舗装版 15cm以下 t=40mm	m ²	7.78	
般運搬	アスファルト般	m ³	0.31	
般処分	アスファルト般	m ³	0.31	W=0.73t

舗装補修工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
表層	密粒度(20)、プライムコート t=40mm	m ²	7.78	

舗装ひびわれ補修工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
ひびわれ充填工	常温硬化型アクリル樹脂系クラック注入材	g	9119	

目地止水工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
リフレクションクラック抑制シート	W=500 ガラス繊維基材	m	12.5	
シーリング材	変性シリコン	?	13.8	
バックアップ材		?	13.8	

【赤松橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その2)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	4 / 9
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)

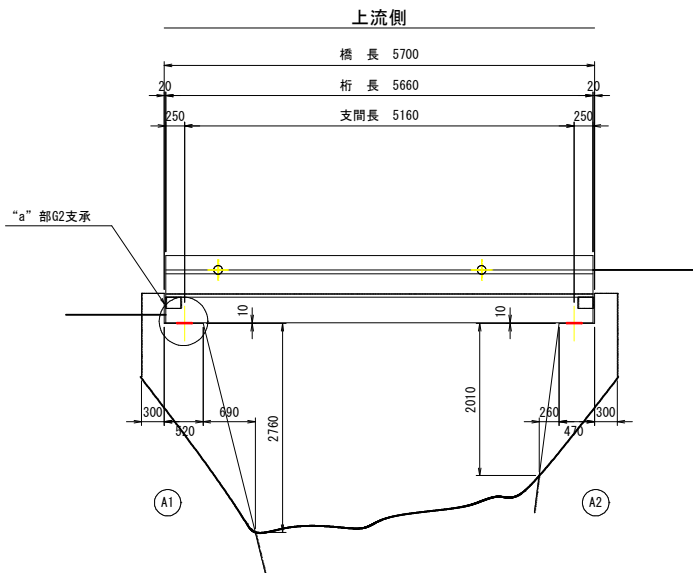
- 1) 本図は、橋梁定期点検調査書を基に復元した。
- 2) 支保については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

赤松橋 補修図(その3)

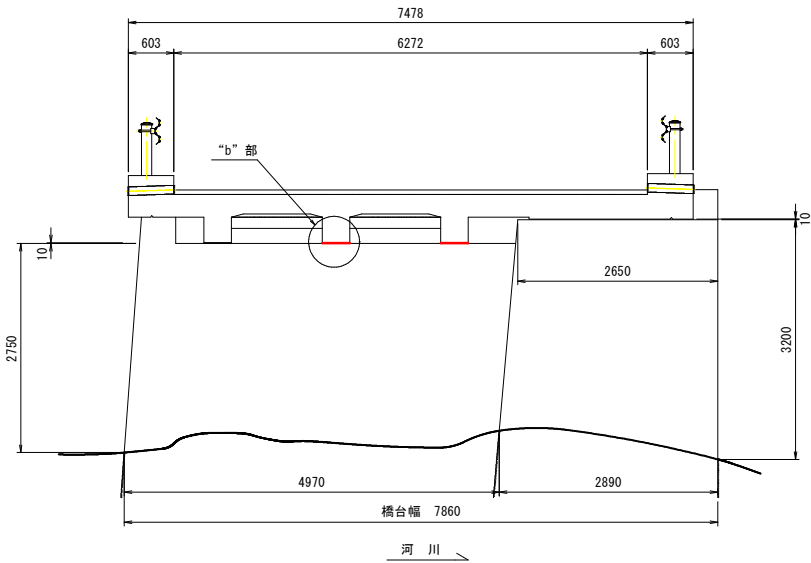
S=1:50

支承防錆工詳細図(1)

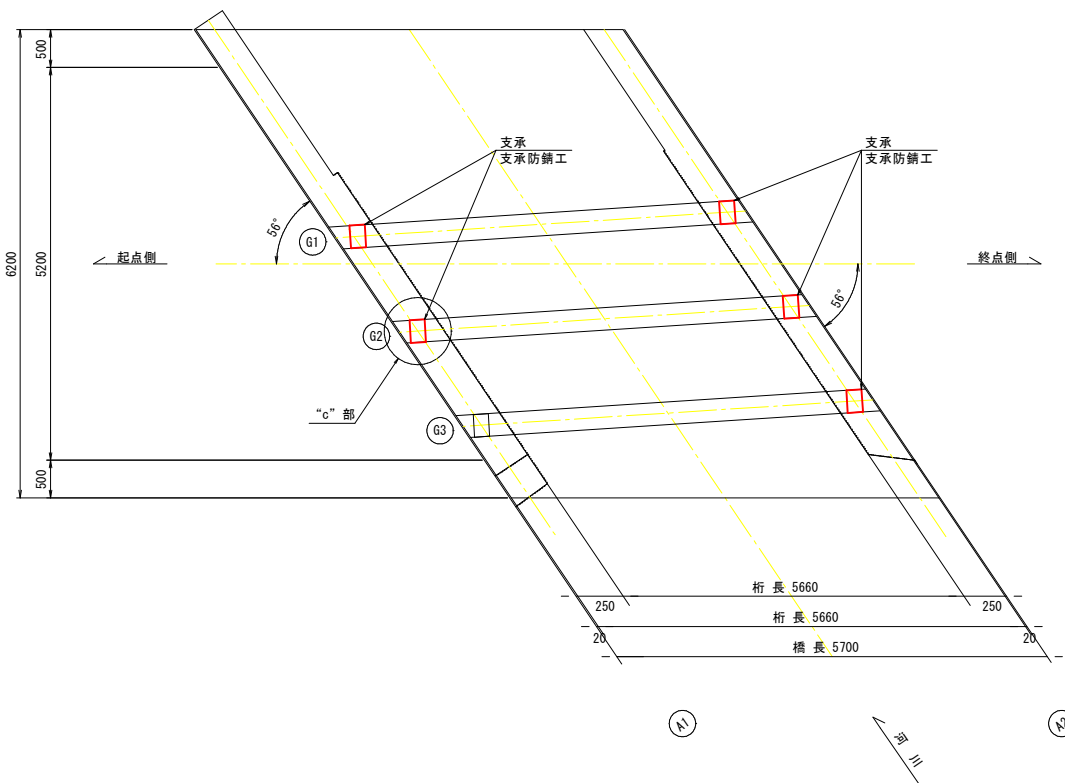
側面図



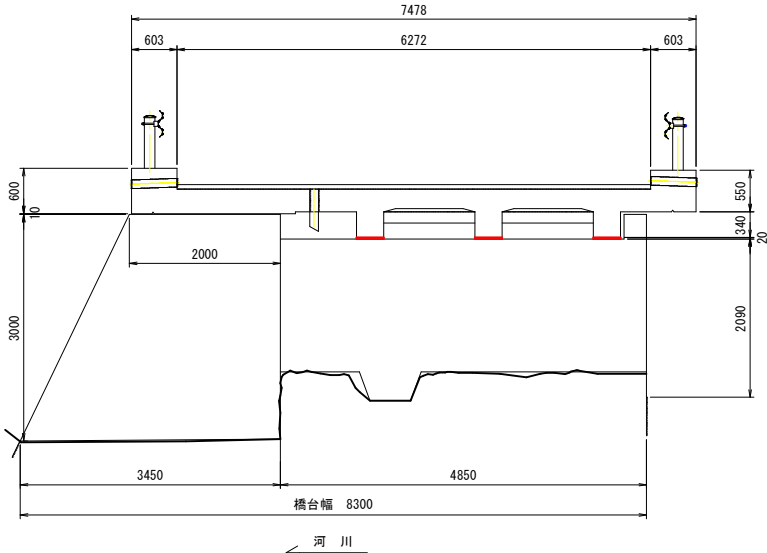
A1橋台



平面図



A2橋台



注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
2) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
3) 支承防錆工施工にあたっては、手作業可能範囲で施工のこと。

【赤松橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その3)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	5 / 9
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

赤松橋 補修図(その4)

S=1:10

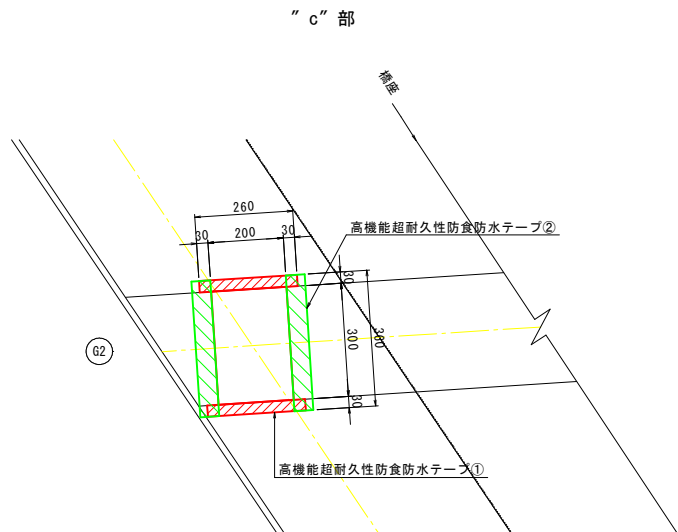
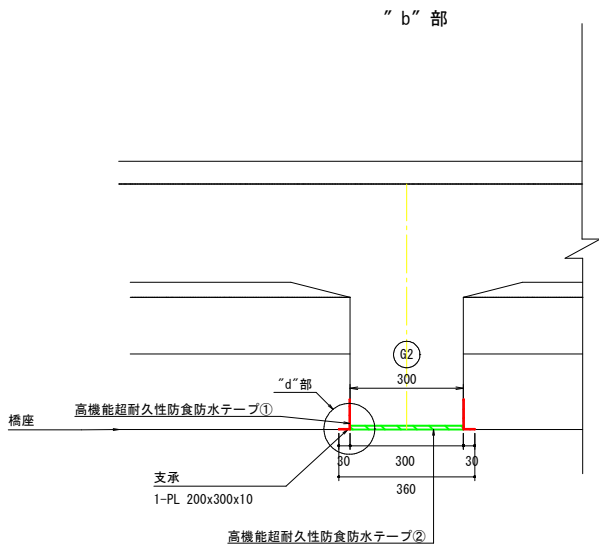
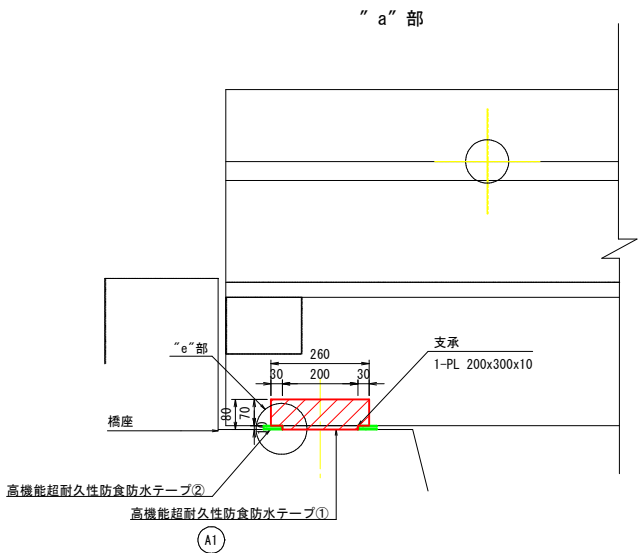
凡例

補修工法	
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部①
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部②

支承防錆工詳細図(2)

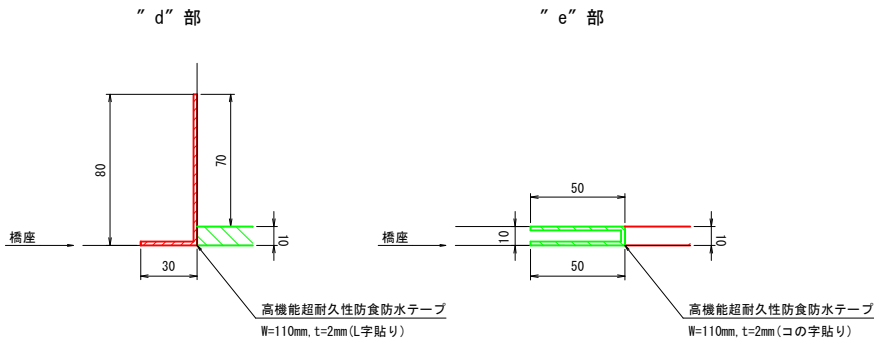
橋軸方向断面図

直角方向断面図

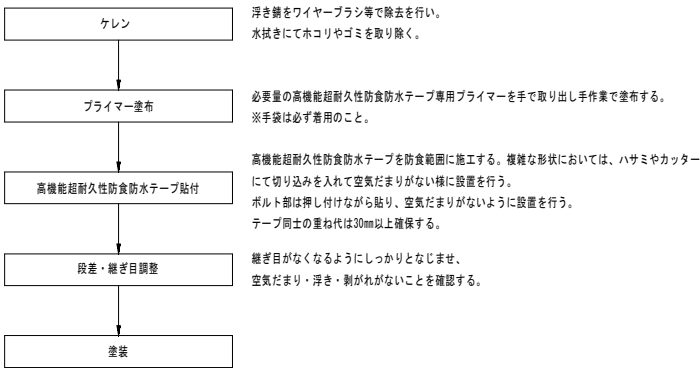


貼り付け詳細図

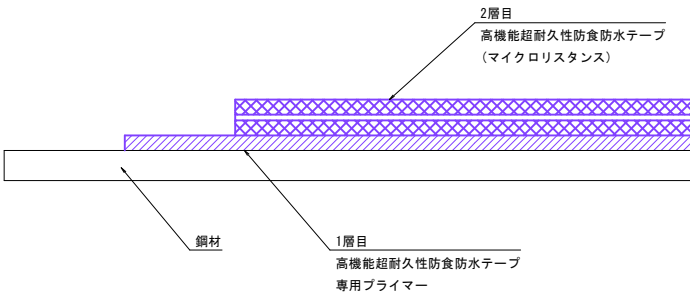
S=1:2



高機能超耐久性防食防水テープ設置エ
フロー図



高機能超耐久性防食防水テープ
システム断面図



手順)

- 下地処理(3種ケレン相当)を行い、プライマーを塗布する。
 - 高機能超耐久性防食防水テープを支承に巻きつけ、手やコテを用いて貼り付ける。
- ※ 形状に応じてハサミやカッターで切込みを入れて空気だまりできないように留意すること。また、テープ同士の重ね代は30mm以上とすること。

注記)

- 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
- 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- 支承防錆工施工にあたっては、狭隘部であるため手作業可能範囲で施工のこと。

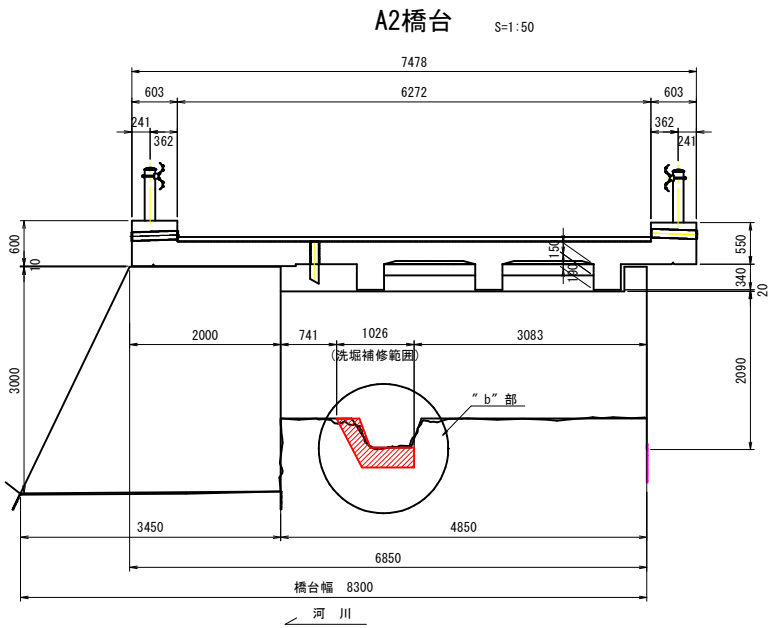
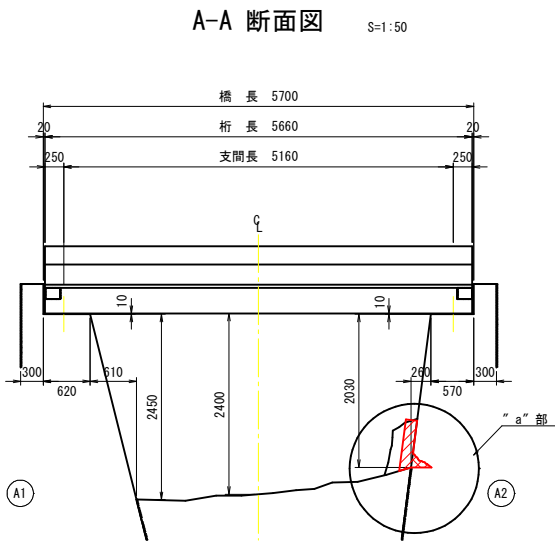
【赤松橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その4)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:10, 1:5	図面番号	6 / 9
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

赤松橋 補修図(その5)

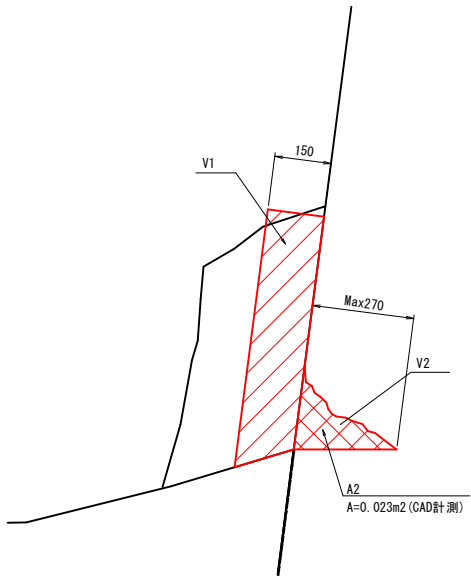
S=1:50

根継工



“a”部拡大図

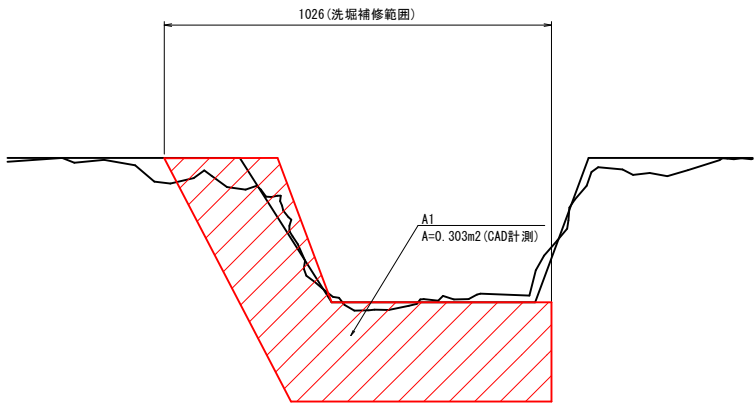
S=1:10



A1 = 0.303 (CAD計測)
V1 = 0.303 (CAD計測) x 0.15 = 0.045m3

“b”部拡大図

S=1:10

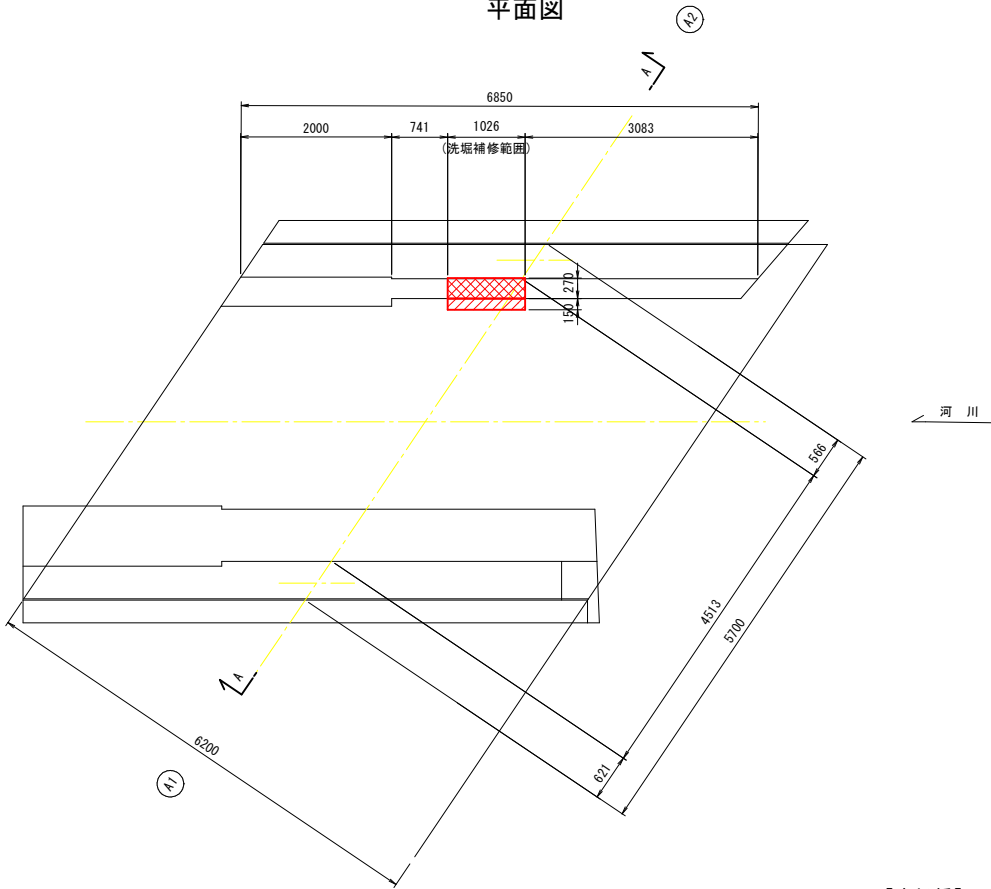


A2 = 0.023 (CAD計測)
V2 = 0.023 (CAD計測) x 1.026 = 0.024m3

根継工数量表

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
V1	0.303 (CAD計測) x 0.15 = 0.045m3	m ³	0.045	18-8-40
V2	0.023 (CAD計測) x 1.026 = 0.024m3	m ³	0.024	
合計		m ³	0.069	

平面図



注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査書を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

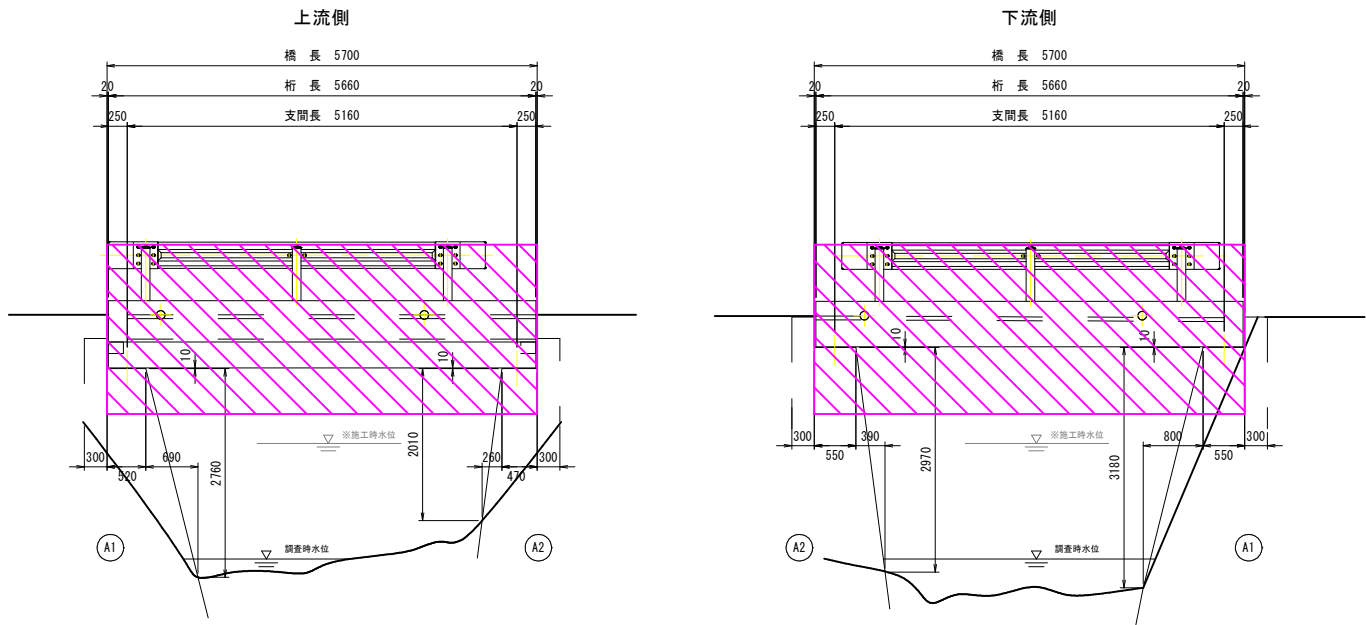
【赤松橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その5)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50, 1:10	図面番号	7 / 9
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

赤松橋 仮設計画図(参考)

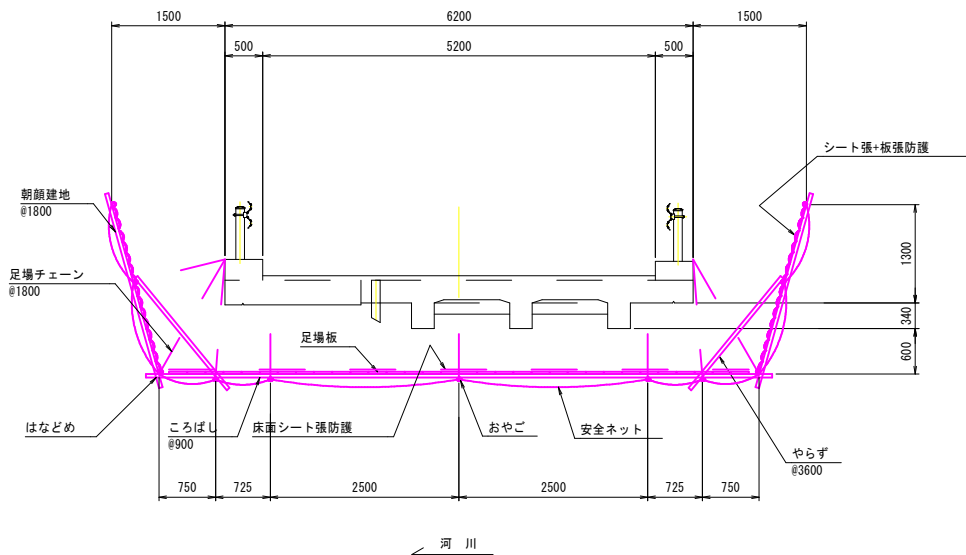
S=1:50

側面図

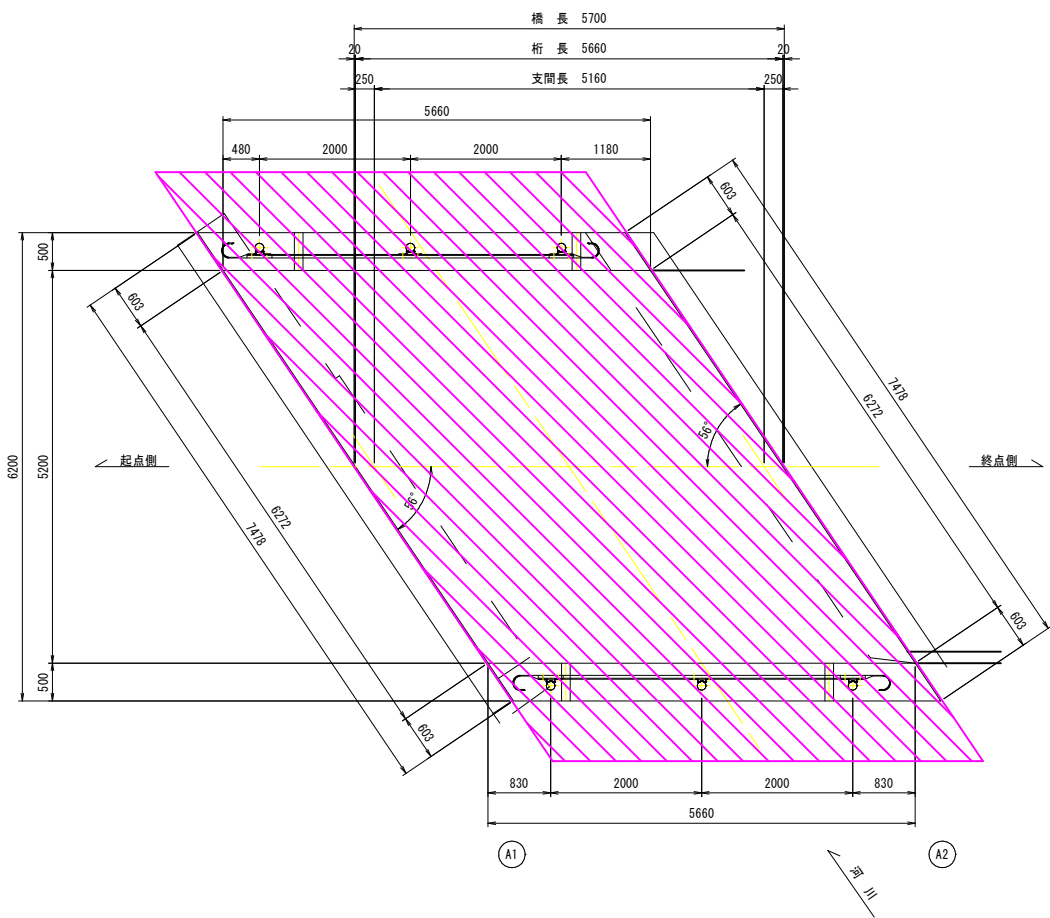


※施工時水位：排出水量(11月～4月)の観測データを用いて算出した数値である。

断面図



平面図



吊足場数量
5.70×6.20 = 35.34 m2
合計 = 35.34 m2

凡 例	
	吊足場

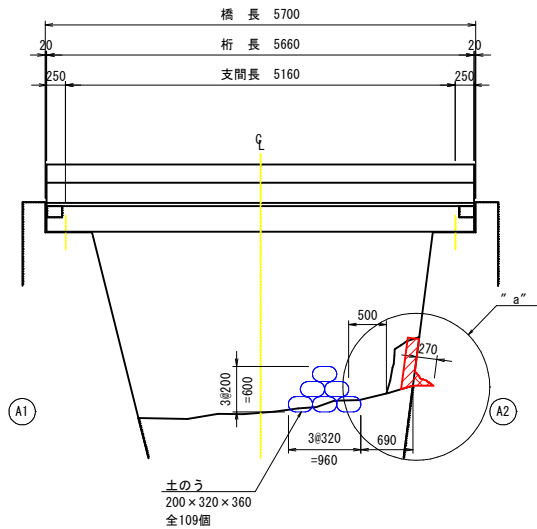
注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
2) 仮設足場設置の際は、周辺状況を確認し、十分な安全確認を怠らないこと。
3) 施工の際は、周辺の利用者等の交通に支障をきたさないよう留意して施工のこと。

【赤松橋】

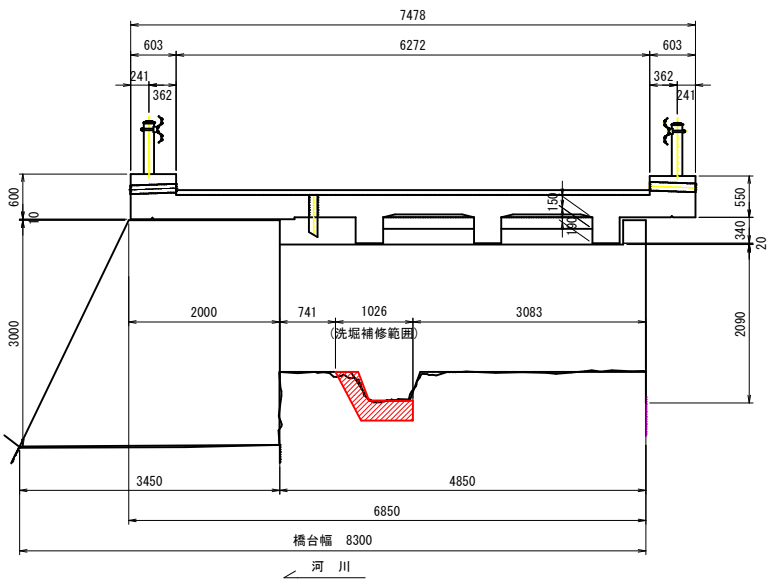
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	仮設計画図(参考)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	8 / 9
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

赤松橋 仮締切工図(参考図)

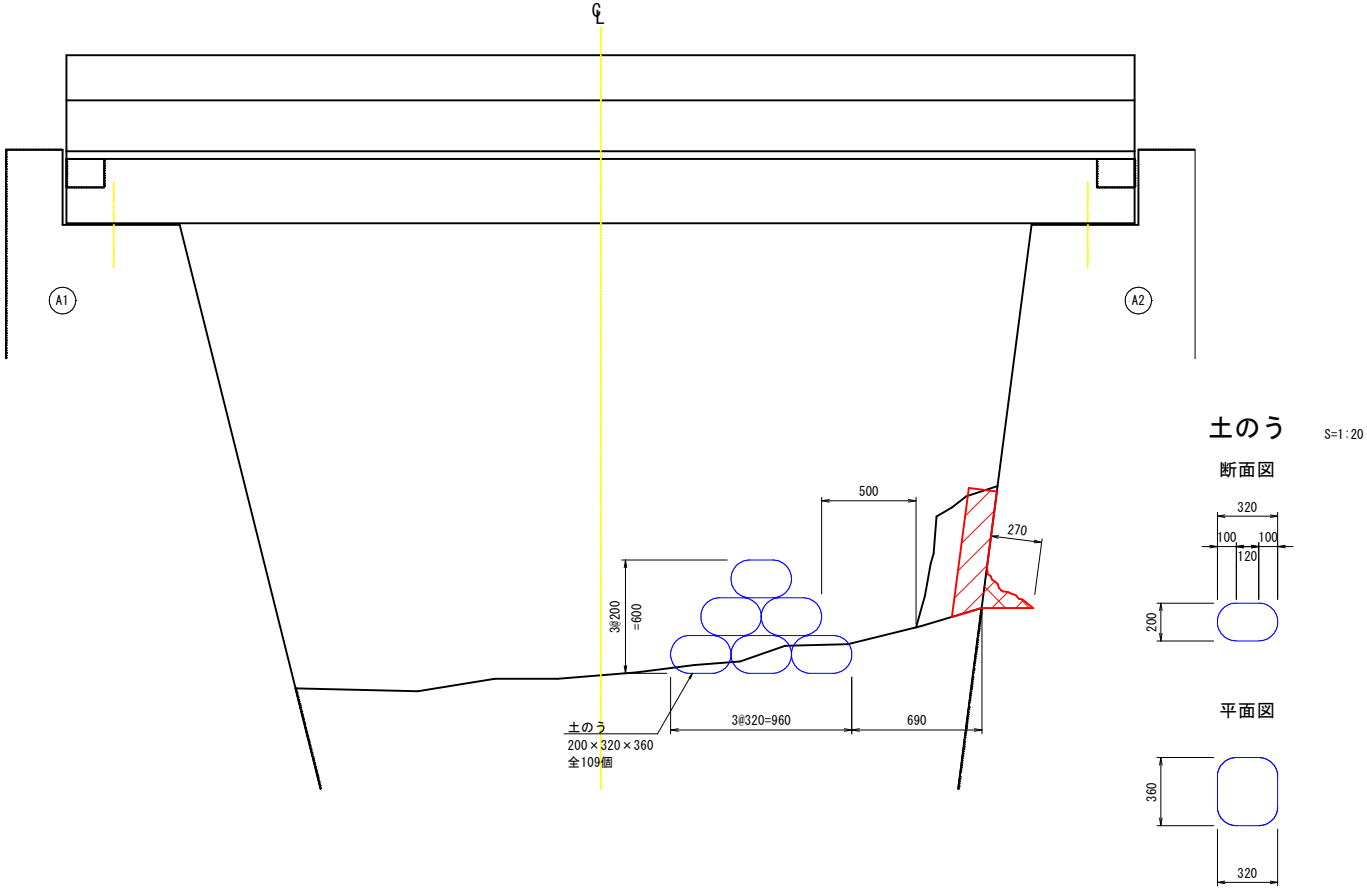
A-A 側面図 S=1:50



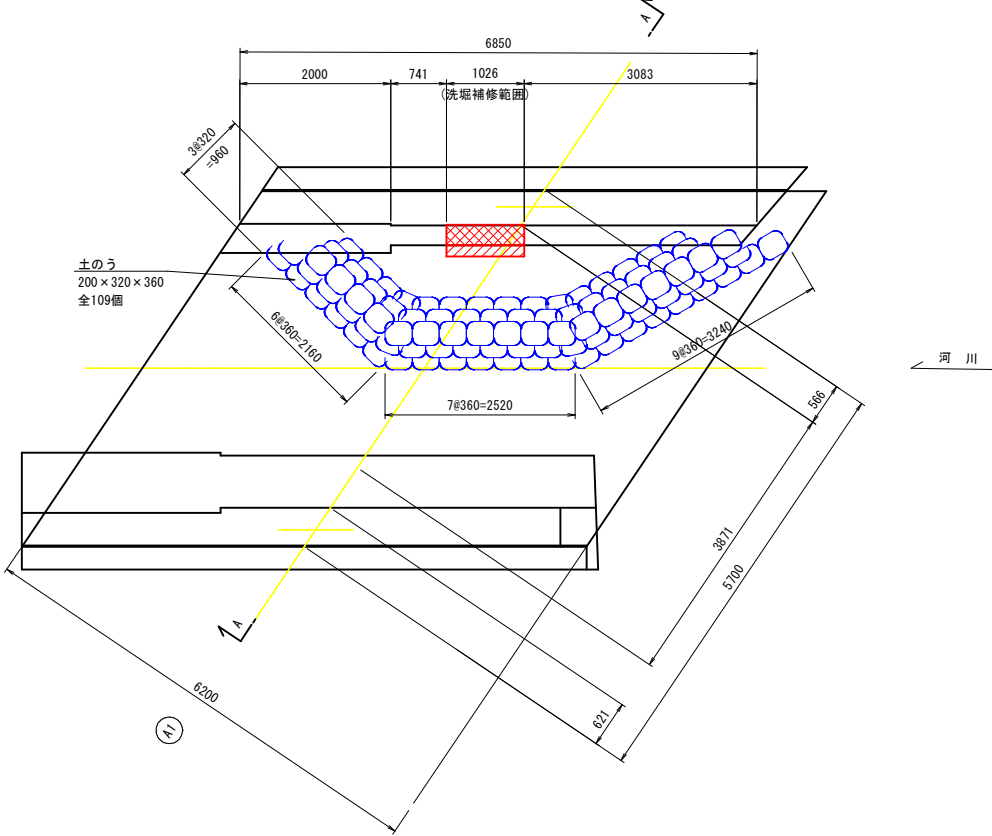
A2橋台 S=1:50



“a”部側面拡大図 S=1:20



平面図 S=1:50



注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【赤松橋】			
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	仮締切工図(参考図)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50, 1:20	図面番号	9 / 9
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		